IBU NEWS

Communication Forum – Information-One on One –

2011 NO.25







テーマ:「咲」

11月1必・23・3余禄

【入場無料】開催時間:10:00~19:00

来る、11月1日~3日の3日間、四 天王寺大学では、『第52回 IBU祭』

本年度実施する大学祭は、音楽棟が 新設されたことにより、例年とは違っ た、また普段は見ることのできない空 間に変わるべく数々の企画を用意して います。卒業生や地域の皆さんも、い 囲気を味わいにお越しください。大学



平川 夏季さん

春名 寛志さん

祭運営委員会一同、来場された皆様に楽しいひと時を過ごしていただけるよ う、日々努力しています。心より皆様のご参加をお待ちしております。 (大学祭運営委員会委員長)

参加者にIBUオリジナルグッズを プレゼント!!

☆参加申し込み不要 ☆入退場自由 ☆無料送迎バス運行(11月3日を除く)

大学・短期大学部の学部・学科や入試制度についてなど、わかりやすく説明し

10:00~15:00

□別相談・フリートーク 学部・学科別の内容、入試・授業内容・クラブ活動など、様々な質問を先生や在学生にしてみよう。

11:00~15:00

☆**ランチ体験〜学食を味わってみよう!〜** IBUの食堂でランチを無料サービス! 受付でジュースももらえます。

学生生活を満喫するなら、学内環境も 大切。IBU生と一緒にチェックしよう。

10:00~15:00

☆オリジナルグッズ 来場者全員にプレゼント! IBUのかわいいグッズがいろいろ! アンケート記入でさらに…

編集・発行/四天王寺大学 入試・広報課 〒583-8501 大阪府羽曳野市学園前3丁目2-1 Tel.072-956-3181 (代表) ■URL http://www.shitennoji.ac.jp/ibu/

【平成24年度 IBU入学試験日程】

大学 共学

人文社会学部日本学科※1、国際キャリア学科※1、社会学科、
人間福祉学科(健康福祉専攻※2/保育専攻)※1 2012年4月開設
※2 2012年4月名称変 学 部 教育学科(小学校・幼児教育コース/中学校英語・小学校コース/保健教育コース) 学 部 経営学科(マネジメントコース/会計ファイナンスコース/ビジネス法コース)

| 性 古 ナ IP 性音手性(**アアアドコ ス/ 云ボアドリンスコ ス/ こノヤスはコ ス/ | | | | | | | |
|--|--------------------|---|--------------------------------------|-----------|--|--|--|
| 入試の種類 | | 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 | | | |
| AO 入試 | 自己推薦型 | 郵送: 9月 5日(月)~ 9月16日(金) 持参: 9月17日(土) | 9月24日(土) | 9月28日(水) | | | |
| 推薦入試 | 特技入試資 格型 | 郵送: 9月26日(月)~9月30日(金) 持参:10月 1日(土) | 10月 8日(土) | 10月13日(木) | | | |
| | 前期日程 | 郵送:10月1/日(月)~10月28日(金) 持参:10月29日(十) | 11月 6日(日) - 試験日自由選択制 11月 7日(月) | 11月15日(火) | | | |
| | 後期日程 | 郵送:11月29日(火)~12月16日(金) 持参:12月17日(土) | 12月20日(火) | 12月25日(日) | | | |
| 一般入試 | 前期日程 | 郵送: 1月 4日(水) ~ 1月18日(水) 持参: 1月19日(木) | 1月26日(木) - 試験日自由選択制 1月27日(金) | 2月 4日(土) | | | |
| | 中期日程 | 郵送: 1月23日(月)~ 2月 9日(木) 持参: 2月10日(金) | 2月17日(金) | 2月26日(日) | | | |
| | 後期日程 | 郵送: 2月13日(月)~3月2日(金) 持参: 3月3日(土)·5日(月) | 3月 9日(金) | 3月13日(火) | | | |
| | センター試験 利用入試 I 期 | | 2月18日(土) | 2月26日(日) | | | |
| | センター試験 利用入試II期 | | 3月16日(金) | 3月18日(日) | | | |

生活ナビゲーション学科(ライフデザイン専攻/ライフケア専攻※)

| 入試の種類 | | 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 |
|-------|--------------------|---|------------------------------------|-----------|
| AO入試 | 自己推薦型 I 期 | 郵送: 9月 5日(月)~ 9月16日(金) 持参: 9月17日(土) | 9月24日(土) | 9月28日(水) |
| | 自己推薦型 Ⅱ期 | 郵送:10月17日(月)~10月31日(月) 持参:11月 1日(火) | 11月 5日(土) | 11月 9日(水) |
| | 自己推薦型 Ⅲ期 | 郵送: 2月13日(月)~3月9日(金) 持参: 3月10日(土)・12日(月) | 3月16日(金) | 3月18日(日) |
| 推薦入試 | 特技入試 資 格 型 | 郵送: 9月26日(月)~ 9月30日(金) 持参: 10月 1日(土) | 10月 8日(土) | 10月13日(木) |
| | 基礎 | 郵送:10月 3日(月)~10月14日(金) 持参:10月15日(土) | 10月20日(木) 試験日自由選択制 10月21日(金) | 10月28日(金) |
| 一般入試 | — 般 | 郵送: 1月 4日(水)~ 1月18日(水) 持参: 1月19日(木) | 1月26日(木) 試験日自由選択制 1月27日(金) | 2月 4日(土) |
| | センター試験 利用入試 I 期 | 郵送: 1月 4日(水)~ 2月13日(月) 持参: 2月14日(火) | 2月18日(土) | 2月26日(日) |

※詳細やその他一般入試などについては、入試・広報課までお問い合わせください。 TEL:072-956-3183 (直通)



懐かしい母校での交流 順調な活動状況の報告

の卒業生が近況報告する

また、昨年卒業したばかり

【収入の部】

科 日

同窓会会費収入

寄付金収入

協力金収入

収 雑

計

前年度からの繰越金

科目

印刷製本費支出

通信費支出

会議費支出

慶 弔 費 支 出

記念品費支出

使用料及び手数料

交誼費支出

事務費支出

雑 費 支 出

奨 学 金 支 出

施設設備充実費

備

期末未払金

次年度へ繰越金

費

支出の部合計 77,053,202

【支出の部】

収入の部合計 77,053,202

予算額

12.000.000

12,000,000

65,053,202

予算額

1,334,500

1,407,000

200,000

100,000

2,080,000

100,000

10,000

10,000

10,000

1,050,000

1.000.000

500,000

10,000

7,811,500

69,241,702

0

0

姿などで賑わっていました

四天王寺大学事務局棟

流の輪が広がりました。

ぶりに恩師との語らいを楽 青春を懐かしんだり、久し ンジで、アルバムに見入って

しんだりする姿が見られ

業生交流会」も開催され き続き「保育科在学生・卒 会が開かれた会場では、

1代を超えた有意義な交

平成22年度 第2回

や同窓生との再会を喜び

を支えるべく、毎年のこの

7,553,820 卒業生83名・在学生56名・教職員173名計312名

備考

189,421 同窓会会報の発行印刷代等 (大学から1/2補助あり

同窓会会報送料他(大学から1/2補助あり

総会費用として100円券436枚のみ使用

入学者1300名に念珠・念珠入れ 大学・院生・短大生卒業者810名に証書カバ

大学祭の同窓会イベント費用(ふうせんレンタル代

文具代等"同窓会会長"印鑑作成 3,576円は予備費

備品の寄贈(防災ベンチ) 課外活動の支援等(片流テント)

が旧交を温めて大学発展

が参加され、懐かしい恩師

くさんの同窓生とご家族

を開催しました。た

するとともに、同窓生同士りなど大学の近況を説明

大学祭・生涯学習フェスタ 合うとともに、同時開催の

賑わいを在校生と共に

た。その後、平成21

会計報告および平

成 23 年度の

年

差 異

7,553,820

7,553,820

差 異

66,155

156,400

684,575

10,000

-3,576

10,000

59,656

500,000

10,000

1,720,960

5.832.860

7,553,820

355

37,974 学園役員等の弔慰金

0

0

平成22年度 決算報告書

義な交流を呼びかけまし

集いへの多数の参加と有意

ホームカミングデー

第2回目

の四天王寺大学

-成22 年11

月

73日(祝)

同窓会総会・ホ

ムカミン

に立ち、キャンパスの発展ぶ

(単位:円)

よび碓井岑夫学長が挨拶

続いて、森田貴夫会長

楽しみました。

なお、今回は、同窓会総

度の事業計画の説明があ

引

承認されまし

決算額

4.446.180

4,446,180

65.053.202

69,499,382

決算額

1,145,079

1.340.845

43.600

62.026

99,645

13,576

1 050 000

940,344

6.090.540

63,408,842

69.499.382

0

1,395,425

Ω

0

総会後には卒業生ラウ

調に事業計画を遂行する として本会を立ち上げて を切りました。 葉を述べ、総会のスタ 同窓生諸氏への感謝の ことができたことに触 数の同窓生に支えられ、順 から1年間というもの、多 会長が、新しい同窓会組織 総会では、まず、原田|臣副 6階で開催された同窓会 言



平成23年度の主な 事業計画・事業内容

4月

・新入生に記念品贈呈【記念品贈呈事業】

- · 同窓会役員会開催 【同窓会総会等開催事業】
- ・在学生への支援【奨学金事業(奨学金)】

8月

・音楽棟完成に伴う備品寄贈【施設設備充実費】

9月

・同窓会会報 (IBU-NEWS) の発行・発送 【同窓会会報発行事業】

10月

・平成23年度新入生による同窓会費納入開始

11月

・同窓会総会の開催【同窓会総会等開催事業】 ・懇親会開催、ホームカミングデーの開催

1月

・教育・研究活動等支援 【教育·研究活動等支援事業 (学校備品等の寄贈)】

【同窓会総会等開催事業】

·教育·研究活動等支援 【教育·研究活動等支援事業(課外活動支援)】

3月

・卒業生に記念品贈呈【記念品贈呈事業】

・在学生への支援【奨学金事業(報奨金)】 ※その他母校の発展に寄与する年間通じての事業 四天王寺大学 四天王寺大学短期大学部

えた改革に努めています

きたるホームカミングデ

で、

本学の進化を実感されます

多くの卒業生が来学されることを期待しております

学長 碓井岑夫

進化する母校を 見て感じてほしい

学科と、語学スキルを重視した国際キャリア学科を新設し、 年度から人文社会学部には、広く深く日本について学ぶ日本 のほか、クラブ活動の場にもなる期待の新施設です。また、

本年度は、新しい音楽棟が完成しました。音楽教育の授業

国際社会で活躍できる人材育成を強化するなど、

時代を見据



化をより一層サポ しても、 窓会」ですが、 金制度の設立、 が開催されるなど、 成21年11月の再立ち上げから間もない "本学の今"をもっと情報発信 昨年度は卒業生、 また総会を機に していきたいと思います 着実に動き始 「保育 新入生 めたようです 科在学生・卒業生交流 し、同窓会活動の活発 への記念品贈呈、 「四天王寺大学 大学と

四天王寺大学同窓会

そして、大学への支援と協力体制を充実させていけるよう

会員相互の親睦をより深め、元気で楽しい同窓会になるよう

まずはこの秋の総会への参加をお待ちしており

会長 森田貴夫

皆さまのご協力で 同窓会の発展を

ń

しく誇りに思います。

同窓会活動の活発化は、

皆様の協力なくしては語れません

部に昇格するなど、 音楽棟が完成し、

明るいニュースに接することができ、

誠に

同窓会会長表彰授与式を実施

先行き不透明な時代にあって、

我が母校は堂々たる新

また、

ソフトボ

ル部男子が関西リ

平成23年3月15日、学位授与式の後に、学内外で顕著な活動を

した者に対して会長名において表彰する四天王寺大学同窓会会長

四天王寺大学同窓会会員ならびにご家族の皆さまにおかれ

から2年近くが経ちました。まだまだ手探り状態ではあり 平成21年11月に私たちの同窓会が新しい一歩を踏み出して が、おかげさまで毎年の りと歩んでおります。

ましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます 事業計画を堅調に達成しながら

同窓会事業報告

学位授与式で記念品を贈呈

来

平成23年3月15日、学位授与式が行われ、短期大学部147名 大学・大学院636名が新たな門出を迎えました。 開式前には11日 に発生した東日本大震災の被災者の方々へのお見舞いの言葉があ りました。式典では学長の式辞、理事長の祝辞に続き、四天王寺





大学同窓会 副会長の原田-臣氏が祝辞を述べました。 また、同窓会より卒業生全 員に記念品として学位記力 バーを寄贈し、IBUを巣立つ 皆さんを讃えました。

入学式で記念品を贈呈

4月1日、平成23年度四天王寺大学入学式が行われ、同窓会を



天王寺大学の発 展の礎として、ま た、新しい時代 を築いていく担 い手として、期 待しています」と 激励しました。

活動分野で受賞成果を残したIBU大阪ア

ンカークラブの3者が表彰されました。 奨学金を贈呈し在学生を支援

表彰式を実施。今回は、平成22年度に

子とアイススケート部、ボランティア

平成23年7月22日、四天王寺大学同窓会 が在学生支援の一環として行う奨学金事業の 第1回目として、大学2名、短期大学部1名

計3名に奨学金が贈呈されました。



協力金のお礼と報告

経済状況がいまだ厳しき折、皆様方から寄せられました温かい ご厚志に心より感謝申し上げます。これもひとえに母校愛と同窓 会活動への取組み「協力金のお願い」の趣旨をご理解いただけた 賜と存じます。ご厚志を生かして、卒業生相互の親睦や在学生と 卒業生との交流、母校の発展に寄与する諸活動など、同窓会にお ける事業計画を着々と進めて参る所存でございます。末筆ながら 皆様の益々のご活躍とご多幸をお祈り申しあげます。

協力金合計 ¥4,446,180-

記念品の 学位記カバー

代表して副会長の和田千鶴氏が祝辞を述べ、幹事の若林節哉氏 が新入生へ記念品として念珠を贈呈しました。

和田副会長は新入生を祝福するとともに、

「仲間と共に学生生活を有意義なものにし、四



副会長の和田千鶴さん

3

HELLO AGAIN

保育者養成の伝統

加するという全国的にもめずら 育者養成に取り組み、 の演習をコアにして質の高い保 度から始まった「保育実践演習 ムを組み、 れています。メインは平成20年 うのをとても楽. しいオリジナ とはカリキュラムなども一新さ 現在の保育科は、5 生は保育職 N」で、保育科教員がチー ルな科目です。こ ・2年生も合同参 挙げました。 戦への就職率 昨年度卒

士もまとまっており、 識が明確な保育科は、 保育者を目指すという目的意 また学生同 、教員と学

0%の成果を挙げ

卒業生の皆さん、お元気です 学外実習巡回指導の度に

> 子どもたちと共にいい仕事をしてほ 生の皆さんにはそうした誇りを胸に

しいと願っています。

ところで、現在、日本の大学は激

現場で頑張っている卒業生と出会 しみにしています ・6年前

論のあるところですが、 行こう」というのが本学の改革の趣 旨です。大学論としてはまだまだ議 学するだけの意味のある大学にして から見ても、社会人から見ても、進 育改革に携わっています。 育開発推進本部長として本学の教 い改革の渦中にあります。 「大学の学校化」への試みと 私も、 一言で言え 「高校生

足をお運びください。皆さんにお会 新しくなっていく母校を実感すべく 教精神に基づく教育を守りながら、 時代の趨勢の中で聖徳太子の仏 今年のホ ムカミングデ

第3回 四天王寺大学同窓会

総会」「ホームカミングデー」

駐車場



地域の方々も大勢足を運 催期間中です。キャンパスには在学生たちによ ます。例年通り、 るエネルギッシュな各種イベントや屋台が展開し たる同窓会総会・ホ 祝 大学祭・生涯学習フェスタの開 ムカミングデー 今年度で第3 -を開催し

仲間との再会を。家族との思い出づくりを。

あの青春時代に帰ろう

ご家族連れでお気軽にご 参加くださいますよう

仲間と誘い合わせ、

また、

青春時代を共に過ごした その賑わい楽しみがてら、 んでいらっしゃいます

同窓会事務局(入試・広報課)【お問い合わせ先】

備した本学の新しいシンボルをその目で確 かめていただけるなど、発展する母校を実感 館)も完成し、 していただけますのでご期待ください そして、さらなる同窓会活動の隆盛と本学 かねてより 最新鋭の音楽教育環境を整

をお願い申しあげる次第です。 の飛躍を期し、今後とも皆様のご支援・ご協力

連絡が必要な場合は、 なお当日、懇親を深める場の提供や恩師へ 事務局までお気軽にお

http://www.shitennoji.ac.jp/ibu/grad_ass/index.html



「第2回 保育科在学生·卒業生交流会 開催のお知らせ 11月3日(祝) 13:00~

大学同窓会終了後、昨年に引き続き保育科在学生・卒業 生交流会を実施します。今回は新音楽棟完成を記念して、保 育科創設時に教鞭をとられた先生方にお越しいただき、黎明期

の保育科についてお話を頂戴する予定です。皆様お誘い合わ せの上、奮ってご参加ください。(詳細は同窓会ホームページをご覧ください)



11:00~12:00

■ 入試相談会 推薦入試・一般入試のご相談

■ 社会人向け学習講座の案内「たいし塾」「サテライトキャンパス」 等のご案内

■ 卒業アルバム展

平成24年度

昨年の「保育科交流会」▲

CAMPUS MAP

6号館

体育館

正門

4月 ・新入生に記念品贈呈【記念品贈呈事業】

· 同窓会役員会開催 [同窓会総会等開催事業] ・在学生への支援【奨学全事業(奨学金)】

・同窓会会報 (IBU-NEWS) の発行・発送 【同窓会会報発行事業】

10月

・平成24年度新入生による同窓会費納入開始

11月 ・同窓会総会の開催【同窓会総会等開催事業】 ・懇親会開催、ホームカミングデーの開催 【同窓会総会等開催事業】

教育・研究活動等支援【教育・研究活動等支援事業

【教育·研究活動等支援事業 (課外活動支援)】 卒業生に記念品贈呈【記念品贈呈事業】

教育・研究活動等支援

・在学生への支援【奨学金事業(報奨金)】

強い絆が培う



久家 英述 教授 教育開発推進本部長

学生支援センター長

教育者として 日々勉強が大切

教育学部 教育学科

八木 成和 准教授

つながっています。 と合格者数の増大という成果に 例化し、質の高い合格者の輩出 合格者との勉強会(フ月)が恒 0G交流会(12月)や、 10年の頃は、本学の教員採用試 ました。それに連動し、OB 数は驚くほど増えるようになり 拡大という追い風もあり、 験合格者は数えるほどでしたが 卒業生の皆さん、お元気です 私が本学に赴任した平成 大阪府の教員採用枠 前年度

なり、卒業生同士のつながりが も一挙に増大。来年4月にはそ ら教育学部として独立 き伝統が受け継がれていくもの そして平成20年、 期生が教壇に立つことに 教育学科 · B U の 良

しょう。お互いに日々勉強です。

時は本当に感無量でした。 を届けてくれたことがあり、 業後数年して採用試験の合格の報 生活を送ることができ、 化・発展の歴史と共に実りある教員 しく思っています。 卒業生が、 大変うれ

であれ、私たち大学教員であれ、教皆さんのような小中学校の教員 (Faculty Development) 専門部 育者に求められるもの、 授業参観などの推進を図って 会の委員としても活動しています す。卒業後も恒例の交流会や同窓会 ものは時代と共に大きくなっていま を研究・共有するための教員相互の を聞く学生アンケ 具体的には、授業改善に資する意見 今、大学は改革期にあり、私はFD 10年ごとの教員免許更 トや、良い授業 期待される います。

NEWS

ピ 行いました。 名の留学生の送別会及び修了式を執り 江工商大学から本学に留学している14 2月4日に、 チでは 送別会での各留学生のス 昨年9月より中国の浙

を熱く語って 力で、 当時より数段 の貴重な体験 した日本語能 レベルアップ 本学への入学 日本で



り修了証書が授与されました くれました。修了式では、 碓井学長よ

きたいと願っています も大学生活を有意義に過ごしていただ 日本での留学経験を活かし、 帰国後

東日本大震災義援金を送付

平成23年度 入学式を挙行

通じて日本赤十字社へ寄付しました。 寄 付. 6月2日現在までに756,974円を 支店から日本赤十字社へ寄付しており 寄せられ、羽曳野市社会福祉協議会を からも4,870,000円の義援金が 募金活動をしています。お寄せいただい た義援金は、随時、ゆうちょ銀行藤井寺 一つとして学生運営委員会が義援金の した東日本大震災の復旧・復興支援の 本学では、平成23年3月11日に発生 しました。併せて、教職員・同窓会

今回の地震と津波は規模も大きく広

会は8月26日~29日、山口県宇部市輝かしい戦績を残しています。同大です。昨年度は全国ベスト8入賞の

で開催され

しました。

28,9

〇円を日本赤十字社へ寄付

22年度出場に引き続き、

2年連続出場

テーマとした講座を担当しました。

「心のケア」、さらには「震災」等13名の教員が「自身の専門領域」

等をや

の間に集まった義援金を合わせて総額

一人あたり500円の受講料と、こ

インカレ)」

への出場権を獲得。

47

早い復旧をお祈りいたしております。 申しあげます。また、被災地の一日も方々と、ご遺族の皆さまにお悔やみを げますとともに犠牲になられた多くの れた方々に、心よりお見舞いを申しあ範囲で被害が及びました。被害に遭わ

交換留学生の送別会と修了式中国 浙江工商大学からの

現地メディアが紹介留学先での義援金活動を

学において、 動を行いました。この模様は3月7日 本学の交換留学生が中国 浙江工商大 東日本大震災の義援金活 夜フ時の

いました。



テレビで 中国中央 れました に放映さ 中国全土

OSAKO 式典後には

5.6セメスター 回キャリアガイダンスを

イダンスを実施しました。 4月6日、大学3・4セメスター

していくことを中心に行いました。大学ができるのかをさまざまな角度から探 外部講師による講演を行いま. する景気をどう乗り越えて準備するか 迎えたことを意識づけるとともに、低迷 5・6セメスター生には、就職年度を 控えている就職活動に対して、今から何 していくことを中心に行いま 大学3・4セメスター 生には、来年に

しく、心身とも旨として礼儀正 入生は新たなルが送られ、新 に健康であるこ とです」とエー で、愛と尊敬を キャンパスライ

ル部男子は、全日本大学選

関西リーグ:

グ1部へ昇格

ちた表情で、晴 フへの希望に満

れの式に臨んで

が盛大に行われ、入学を祝福しまし踊)などによる新入生歓迎セレモニ ラ

ター 動への認識を高めていました。は真剣な表情で話に聞き入り、 ありました。両ガイダンスとも、 ンシップ参加などについて説明が 就職活 学生

生を対象に、キャリアガ 生

また、 キャリアセンターからイン

リーグー部への昇格を果たしました。 季関西学生ソフトボ 手権大会(全日本インカレ)や関西学生 ・グ戦で活躍し、関西

2部Aブロック優勝の大阪大学とのブ 会」に出場しました。 月5日~8日には、 り1部リーグ昇格が決定しました。 3度目の2部優勝を果たし、これによ 戦となりタイブレー 2部Bブロックで優勝し、5月15日: 催される「第49回西日本大学選手権 ロック決勝戦へ進出。 おいて、強豪校と熱戦を展開した結果 4月10日より開催された「第4回春 岐阜県羽島市で開 -クの末、 点を争う白熱 11年ぶり -グ 戦 」 8



平成23年度

四天王寺大学入学式が

四天王寺大学同窓会 午後から人文社会学部・経営学部・大 学院(約680名)に分かれて行われ 育学部・短期大学部 (約500名)と 4 月 1 式典では学長、 Ė 本学大講堂にて、 理事長の式辞に続き 午前に教

尊び自分を大切にし、感謝の気持ちを より祝辞をいただきました。学長から 本学学生の理想として、 何事にも誠実・正直・真面目 和田千鶴副会長 「他人を

CAMPUS

の講義などの イクとは聴覚障がい者のために、大学 今

心となり、

トテイカー

初心者向け

4月23日、

トテイククラブが中

先生が来校 交換教員ハワー

・ド・イングル

ここから

加することが 生がノ うことで、 筆記通訳を行 多くの学 トテ

後、

「数珠つなぎ支援の和」開講東日本応援講座



期待されます

かけ、 のご参加とご協力 方々を中心に多数 を行い、 チャリティ 支援の和」と題し 講座「数珠つなぎ 5月から6月に ただきまし \cup 東日本応援 地域の -形式の | 講 座



の養成講座を開催しました。 ました。 の世界 リカユタ州のソルトレーク・コミュ5月3日から21日にかけて、アメ 理」と題し、 ニティカレッジ (SLCC) より ハワード・イングル先生が来校され

chology of Sustainability" が行われま. 5月6日に"One World, the Psy 持続可能な社会をめざす心 すべて英語でレクチャ 一つ

の専門である 質疑応答する 加し、熱心に 学。について、 ことで、先生 職員が多数参 た。学生・教 "エコ・心理

えて Psychology"「エコ心理学を10年教Psychology"「エコ心理学を10年教 深く理解する機会となりま 5月18日は、2回目のレクチャ ーを行い さらに理解を深めま

文化系クラブが成果発表「水無月祭」を開催

めて実施。吹奏楽部や軽音楽部、フォ り上げ大切にしたいという気持ちを込 の繋がりを深め、広く日本全体の絆を創 度は「繋(つながる)」をテーマに、 り、「水無月祭」が開催されました。今年 6月19日、学生運営委員会主催によ 人々と

ラブによる演奏 クソングクラブ りでした。 大変な盛り上が 店などが行われ 演劇発表、模擬 会や、作品展示 などの音楽系ク 更大 久林 ない



アムでの派遣書道指導の経験もある脇 碓井岑夫学長を訪問し、作品を披露。グ 6月14日、恩師の金森江仙先生と共に 展覧会「日本武道館賞」を受賞しま 丸佳子さんが、第47回全日本書初め大 教育学科保健教育コース4年生 脇黒



より理解できる養護教諭を目指して

最新鋭の新しいシンボルです。 「音楽棟」が堂々完成 !! 2

建設中だった「音楽棟」が、この夏旧エクステンションセンター棟に

ついに完成しました。 地上3階建て

でい、学生ホール、 室はもちろんの と、学生ホール、 パウダー スペースも完備 の学舎には、多目 的教室、リズム室 ふどくつろぎのハウダールーム

ンボルとしての活用が期待されての学生にとっても、本学の新しいシされ、直接音楽分野を学ばない学科

ランゲージプラザ



から、外国語での日常会話を楽しんているので、留学を考えている学生利用でき、日本人スタッフも常駐し ができます。無料の個人レッスンも 外国語運用能力を身につけること た外国語に触れることで、 話ができる施設です。日常的に生き 、実践的な